

令和4年度 吉田公民館事業報告

1 運営方針

(1) 基本方針

地域住民の生涯学習及び交流の拠点として気軽に利用し学習できるように、学習要望を考慮し、地域課題に応じた事業を計画し実行します。

(2) 重点施策

- 地域住民のニーズに応じた生涯学習の推進に努めます。
- 地域づくり活動を推進し、地域福祉や地域防災など現代的課題や地域課題の解決に向けた学習機会を提供していきます。
- 地域住民のやりがい、いきがい、仲間づくりを支援します。

2 事業実績

対象	事業名	講座名	実施月	延人数	回数	主催 共催
小学生	体験学習	こどもチャレンジ 教室	7月 12月	16名	2回	主催
	体験学習	ふれあい田んぼ	6月 10月	100名	2回	共催
成人	健康講座	美人シリーズ	1~3月	57名	6回	主催
	健康講座	みんなで登ろう 神成山	5月	15人	1回	共催
	健康講座	コアトレーニング	12月	13名	1回	主催
	健康講座	睡眠と健康の千恵 袋	3月	5名	1回	主催
	教室	スマホ教室	9月	5名	1回	主催
	教室	盆栽こけ玉教室	9月	11名	1回	主催
	教室	歌声教室	9~3月	75名	6回	主催
	教室	絹で三連の柿を作 ろう	11月	4名	1回	主催
	文化講座	武家政権のはじま り	9月	15名	1回	主催
高齢者	高齢者学級	カエデ学級	7・9・10月	50名	4回	主催

	地域福祉	高齢者配食サービス	6・10・1・3月	315名	4回	共催
地域住民	健康講座	ふれあい健康づくり	11月	40名	1回	共催
	地域学習	ふるさと探訪ウォーク	11月	24名	1回	共催
	地域防災	地域避難所開設訓練	9月	56名	1回	共催
	地域防災	土のうづくり	6月	42名	1回	共催
	環境美化	吉田小除草作業	7月	118名	1回	共催
	生涯学習 奨励員事業	心温まる サクソ演奏	11月	28名	1回	共催
	世代間交流	スマイル卓球	4～3月	145名	23回	主催
	地域づくり振興	円卓会議（みんなの吉田）	4～3月	173名	11回	共催

※事業実績は、実施月日、延べ人数、回数等を書いてください。

3 主な事業紹介

(1) 事業名・講座名 「冬休み子どもチャレンジ教室」

① ねらい

小学生を対象に体験型学習を通じて様々なものに興味を持ってもらい、学習する機会を提供します。また、子ども達の公民館利用促進も目標としています。

② 事業内容

○開催日：令和4年12月23日（金）午後2時から午後4時まで

○内 容：群馬県立自然史博物館出張教室

・海草のハーバリウムをつくろう

③ 事業の評価・反省

体験学習は、実験などに触れいろいろなことに興味を持つきっかけになるよう好奇心を養うことを目的に開催した。低学年は親子一緒に参加し、親子の触れ合いの場を提供でき、高学年は創造力をフル回転させながら完成へと目指し、成功体験を味わうことができた。また、指導員の方の海草についての話は子供たちに好評でした。



(2) 事業名・講座名 「ふれあい健康づくり」

① ねらい

世代間交流事業として小学生から高齢者まで幅広い世代に集ってもらい、軽スポーツを通じて、交流と健康増進を図います。

② 事業内容

○開催日：令和4年11月13日（日）午前9時から午前11時30分まで

○内 容：ふれあい健康づくり

- ・ 輪投げ
- ・ スマイルボウリング
- ・ ボッチャ
- ・ ヘルスバレーボール

事業の評価・反省

地域づくり協議会福祉部会主催・吉田公民館共催事業として募集をしたところ、小学生をはじめ、多くの方々の参加をいただきました。核家族化が進む中で高齢者と触れ合う機会が少なくなっているため、次世代交流は有意義な時間でした。また、各競技ともみんなで楽しめる競技なので、永く続けられるよう工夫を凝らします。



4 今年度のまとめ（評価・反省）

評価	評価理由、主な取組み、頑張ったところ、残った課題等
4	コロナ禍でも少しずつ事業が動き出し、感染対策をしっかりと行った上でマスク着用での声出しも解除となり、歌声教室の参加者は心身共にストレスから解放され楽しく参加できました。5月の連休明けからコロナウイルスが5類になり制限がなくなるので、様々な年代が参加でき次世代交流を図れる企画等を考えます。

◎評価の基準：5=大変よくできた。4=よくできた。3=おおむねできた。2=あまりできなかった。
1=できなかった。